



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 三精テクノロジーズ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6357 URL <http://www.sansei-technologies.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良知 昇

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山邊 隆義

TEL 06-6393-5621

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	30,120	△18.9	1,021	△60.1	1,079	△57.6	442	△71.4
2019年3月期第3四半期	37,129	95.8	2,558	109.9	2,545	88.7	1,544	89.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △833百万円 (△166.9%) 2019年3月期第3四半期 1,244百万円 (0.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	23.95	23.74
2019年3月期第3四半期	83.76	83.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	64,448	29,042	44.8	1,565.28
2019年3月期	69,188	30,481	43.9	1,645.77

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 28,894百万円 2019年3月期 30,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2020年3月期	—	17.50	—		
2020年3月期(予想)				17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△5.3	3,300	△23.6	3,200	△25.3	1,250	△54.5	67.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	19,332,057 株	2019年3月期	19,332,057 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	872,444 株	2019年3月期	880,197 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	18,459,595 株	2019年3月期3Q	18,444,508 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、米中間の貿易摩擦や米国・イランの対立激化等の地政学リスクの高まりを背景に、国内外の経済環境の先行きは、さらに不透明感を増しております。

このような環境下、当社グループは遊戯機械・舞台設備・昇降機の3部門で、業績の向上に取り組んでまいりましたが、売上高は30,120百万円（前年同期比18.9%減）、営業利益は1,021百万円（同60.1%減）、経常利益は1,079百万円（同57.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は442百万円（同71.4%減）と、大幅な減収減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（売上高はセグメント間の内部売上を含んでおりません）

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業内容に合わせ、報告セグメントの区分方法を見直しております。

当社グループは従来「製品製造関連」、「保守改修関連」を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「遊戯機械」、「舞台設備」、「昇降機」に区分して記載する方法に変更しております。これに伴い、従来「保守改修関連」に区分・記載しておりました保守改修関連事業を「遊戯機械」、「舞台設備」、「昇降機」の各報告セグメントに含めて記載しております。

遊戯機械

前年同期は内外で多数の大型案件の売上計上が順調に進みましたが、当期は大型案件の売上計上が踊り場にあること、中国を中心に主要な案件の着工・建設等について進捗に遅れがみられること、ドル・ユーロ共に円高になったこと等から、売上高は17,096百万円（前年同期比27.9%減）、セグメント利益は126百万円（同92.1%減）となりました。

舞台設備

大型公共ホール新設案件の進行や大規模コンサートの活況等により売上が好調であった前年同期に比べ、当期は早々に大型案件が完工し、新規受注の売上寄与が翌期以降にまたがることもあり、売上高は9,759百万円（同4.6%減）、セグメント利益は新設・改修工事共順調で一定の利幅を確保できたこと等から、1,712百万円（同15.7%増）となりました。

昇降機

ダム用等大口特殊仕様の工事が一巡したこと等により、当期は、採算の厳しい住宅用案件中心の着工が続いたことから、売上高は3,184百万円（同2.9%増）、セグメント利益は290百万円（同40.1%減）となりました。

その他

売上高は80百万円（同1.5%増）、セグメント利益は22百万円（同18.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,866百万円減少し、34,940百万円となりました。これは主に、仕掛品が1,138百万円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が4,797百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,872百万円減少し、29,508百万円となりました。これは主に、償却が進捗したことにより無形固定資産が2,427百万円減少したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ4,739百万円減少し、64,448百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,346百万円減少し、17,361百万円となりました。これは主に、海外子会社を中心に前受金が1,276百万円減少したことと、支払手形及び買掛金が858百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ954百万円減少し、18,044百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済が進んだことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ3,300百万円減少し、35,406百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ1,439百万円減少し、29,042百万円となりました。これは主に、為替の変動により為替換算調整勘定が1,574百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点において2019年5月10日に公表した数値を見直しておりません。今後の業績の推移により、見直しの必要が生じた場合には、すみやかに開示致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,344,718	9,406,805
受取手形及び売掛金	24,539,795	19,742,192
電子記録債権	139,689	219,196
有価証券	-	100,960
仕掛品	771,257	1,909,432
原材料及び貯蔵品	1,721,155	2,029,653
その他	1,392,468	1,690,573
貸倒引当金	△102,057	△158,663
流動資産合計	37,807,027	34,940,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,278,990	5,095,723
土地	4,227,306	4,325,201
その他(純額)	1,164,935	1,466,662
有形固定資産合計	10,671,232	10,887,587
無形固定資産		
のれん	10,429,637	9,020,638
その他	3,669,158	2,650,896
無形固定資産合計	14,098,796	11,671,534
投資その他の資産		
投資有価証券	5,103,377	5,401,353
その他	1,509,273	1,549,092
貸倒引当金	△1,645	△1,251
投資その他の資産合計	6,611,005	6,949,194
固定資産合計	31,381,034	29,508,317
資産合計	69,188,062	64,448,468

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,365,794	3,507,212
短期借入金	1,248,975	1,453,007
1年内返済予定の長期借入金	1,276,008	1,226,008
未払法人税等	684,373	6,101
前受金	7,991,272	6,714,332
賞与引当金	506,526	333,965
役員賞与引当金	34,750	3,325
工事損失引当金	1,179,676	1,123,806
その他	2,420,551	2,994,132
流動負債合計	19,707,928	17,361,892
固定負債		
長期借入金	15,783,974	14,799,839
退職給付に係る負債	2,072,009	2,185,835
その他	1,142,510	1,058,583
固定負債合計	18,998,494	18,044,258
負債合計	38,706,423	35,406,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,429,502	2,431,362
利益剰余金	23,359,730	23,156,051
自己株式	△443,285	△439,398
株主資本合計	28,597,227	28,399,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,394,967	1,706,284
繰延ヘッジ損益	8,793	△216
為替換算調整勘定	362,070	△1,212,720
退職給付に係る調整累計額	4,390	1,731
その他の包括利益累計額合計	1,770,222	495,078
新株予約権	114,189	147,943
純資産合計	30,481,639	29,042,317
負債純資産合計	69,188,062	64,448,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	37,129,223	30,120,290
売上原価	27,817,201	22,392,863
売上総利益	9,312,021	7,727,427
販売費及び一般管理費	6,753,927	6,705,624
営業利益	2,558,093	1,021,802
営業外収益		
受取利息	3,402	9,788
受取配当金	88,727	113,746
保険配当金	19,887	116,659
その他	41,207	41,882
営業外収益合計	153,224	282,077
営業外費用		
支払利息	140,778	185,948
支払手数料	4,063	4,045
持分法による投資損失	5,989	9,381
為替差損	8,932	17,716
その他	6,335	7,610
営業外費用合計	166,098	224,704
経常利益	2,545,219	1,079,175
特別利益		
固定資産売却益	-	1,296
特別利益合計	-	1,296
特別損失		
固定資産売却損	-	575
投資有価証券評価損	-	49,370
特別損失合計	-	49,945
税金等調整前四半期純利益	2,545,219	1,030,526
法人税等	1,000,370	588,403
四半期純利益	1,544,848	442,122
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,544,848	442,122

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,544,848	442,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197,530	311,316
繰延ヘッジ損益	△17,106	△9,010
為替換算調整勘定	△84,554	△1,574,791
退職給付に係る調整額	△1,014	△2,659
その他の包括利益合計	△300,206	△1,275,144
四半期包括利益	1,244,641	△833,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,244,641	△833,021
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産又は流動負債として繰延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が80,206千円増加し、流動負債の「その他」が38,551千円及び固定負債の「その他」が41,689千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益及び、利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。